

「おいしい米」日本一



石岡・岡田ファーム

山形県庄内町で昨年11月に開かれた「第18回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」決勝大会のネクスト部門で、石岡市小屋の「獅子米生産組合・岡田ファーム」(岡田弘代表)が栽培した品種「ゆうだい21」が最高賞の最優秀金賞を受賞した。10度目の挑戦で「コメ日本一」の称号を獲得した岡田代表(65)は「思わずガッツポーズしてしまった。ナンバーワンになりたいくて、暑い日も我慢して努力してきた。念願がかなった」と、発表の瞬間を振り返り、満面の笑みを浮かべた。

山形でコンテスト 挑戦10度目 栄冠

コンテストは全国から応募のあった500点を審査。全国から募った審査員が香り、味、粘り気などを基準に点数を付けた。ネクスト部門は、昨年4月1日時点で登録から15年経過していない品種が対象。60点が出品され、11月30日の決勝大会は6点で争われた。ゆうだい21は近年、全国各地の品評会で高い評価を受けている。1990年に宇都宮大の農場で偶然誕生し、20年の栽培研究を経て2010年に登録された。大粒でうまみと甘みが強く、冷めても硬くなりにくいのが特長。岡田ファームでは3年前に生産を始めた。

岡田ファームは岡田代表、妻の慶子さん(55)、従業員3人で運営。庄内町のコンテストでは17、18、22年に優良金賞を受賞している。今回のゆうだい21のほか「いのちの恵」「コシヒカリ」「ミルキークイ

念願の「コメ日本一」に輝いた岡田ファームの岡田弘代表(左)と妻の慶子さん
|| 石岡市小屋

第18回 あなたが選ぶ



ン」「あきたこまち」などの生産も手がける。「いい成績を収めることで楽しみがどんどん膨らんでいる。山を背負った地形は、大量生産はできなくても味のいい米作りには合っている。いろいろな人においしい米を食べしてほしい」

と岡田代表。受賞したゆうだい21は岡田ファームで直売しており、フラワーパーク、わくわく広場イオンモール土浦店、ポケットファームどきどきつくば牛久店などでも取り扱っている。石岡市のふるさと納税の返礼品にもなっている。
(黒沢保史)

令和6年

11/30^土

決勝進出記念

in

山形県庄内町